

## 政治学から見る 事例研究

### ●事例研究とは？—事例の数、記述の方法、分析手法

「事例研究」という言葉を聞いたことがありますか？  
「事例研究」とは、文献調査やインタビュー、フィールドワークなどによる研究手法のことです。

分析手法には、定性的分析<sup>✎</sup>と定量的分析<sup>✎</sup>があり、この2つは、分析における両輪とも言えるものです。そして、「事例研究」は定性的分析に当たります。

本稿では、事例研究を紹介します。

- 1.事例研究とは何か？—事例の数、記述の方法、分析手法
- 2.事例研究の長所
- 3.事例研究の限界と適不適  
—どのようなテーマに適しているのか



## 1.事例研究とは何か—事例の数、記述の方法、分析手法

「事例研究とは何か」を理解する際には、以下の3つの点—(A) 事例の数、(B) 記述の方法、(C) 分析手法—に着目すると理解しやすくなります。

(A) 事例の数：分析対象とする事例の数が少ない。

(B) 記述の方法：定性的に記述される。



(C) 分析手法：過程追跡 に適した文献調査やインタビュー、フィールドワークなどにより検証が行われる。

次に、「事例研究」をより具体的に見ていきましょう。「事例研究」にはどのような種類のものがあるのでしょうか。それを(A)事例の数を基準に、下の表にまとめました。

事例の数	事例研究の分類	特徴
単一 (single case)	単一事例研究	<ul style="list-style-type: none"><li>・因果関係を説明する理論の構築・検証を目的としないこともある。</li><li>※単一事例研究が、因果関係に無頓着で、理論的貢献に乏しいというわけではない。</li></ul>
2つ以上の少数 (small N)	比較事例研究	<ul style="list-style-type: none"><li>・因果関係を描出して理論を構築・検証することが目的となる。</li></ul>

## 2.事例研究の長所

ここでは、事例研究の長所を見出していきましょう。

事例研究の長所	
①概念の妥当性	より少ない事例において概念を精緻化し、その妥当性を高めることができる。
②新たな仮説の導出	逸脱事例の研究や現地調査などを通じて、新たな変数や仮説を見出し発見することができる。
③因果メカニズムの探求	個々の事例における因果メカニズムの作用を詳細に検討できる。  
④複雑な因果関係のモデル化と評価	同一結果帰着性 ・ 複雑な相互作用 ・ 経路依存などの複雑な因果関係を捉えることができる。

ジョージ/ベネット (2013) pp.27-31より筆者作成。

### 用語集



鉛筆マークが付いている用語の解説！

- ・ **定性的**…少数の事例を詳細に叙述しながら検討する分析手法
- ⇔ **定量的**…多くの事例を収集し、統計的分析を加える分析手法 (建林ほか 2008, 13)
- ・ **過程追跡**…研究者が政治過程を(事後的に)追跡し、説明したい現象の原因を浮かび上がらせること(加藤ほか 2014, 54)
- ・ **同一結果帰着性**…異なる複数の要因の組み合わせが同一の結果を引き起こすこと(加藤ほか 2014, 10)
- ・ **経路依存**…過去の1つの選択が、慣性のため、変化しにくい現象 (猪口ほか 2000, 285)

### 3.事例研究の限界と適不適—どのようなテーマに適しているのか

2.で事例研究の長所を示しましたが、当然短所もあります。ここでは、事例研究の以下の4つの限界（短所）と事例研究の適不適を示します。

- ① 「選択バイアス」…ある特殊な結果が起こった事例ばかりを意図的に、もしくは無意識的に選んでしまう。
- ② 因果関係の確定について、暫定的な結論しか出せない。
- ③ ある種類の事例をより詳細に説明しようとする、他のタイプの事例を説明する能力は低下してしまう。
- ④ 研究者が選んだ複数の事例が相互に独立していないことに気づかずに、結果的に誤った結論を導くおそれがある。

上記の限界がある一方で、事例研究は次の場合には有効です。

- ① ある理論・学説の適用範囲を特定したい。特定の事例群における因果的必要性や十分性の主張を評価したい。
- ② 特定の結果が起こる条件やそれが起こるメカニズムを見出したい。

いかがでしたでしょうか。レポートや卒論で「事例研究」を活用してみましよう！もっと知りたい方は学習相談デスクへ！

#### 参考文献

井口孝ほか編(2000)『政治学事典』弘文堂。  
ジョージ・アレキサンダー／アンドリュー・ベネット[泉川泰博訳](2013)「第1章 事例研究と理論の形成」『社会科学のケース・スタディ』pp.11-46、勁草書房。  
建林正彦・曾我謙悟・待鳥聡史(2008)『比較政治制度論』有斐閣アルマ。  
山本健太郎(2014)「第2章 事例研究」加藤・堺屋・山本編『政治学の方法』pp.37-70、有斐閣。

図書館 4F 閲覧室

